

平成 24 年 4 月 27 日

沖縄電力株式会社

平成 23 年度決算について

1. 販売の状況

平成 23 年度の販売電力量は、電灯が前年度に比べ 1.8%減の 29 億 38 百万 kWh、電力が 0.6%減の 45 億 2 百万 kWh、販売電力量合計では、前年度に比べ 1.1%減の 74 億 40 百万 kWh となりました。

電灯においては、夏場の気温が前年より低く推移したことや台風の影響により前年度を下回りました。また、電力においても、夏場の気温が前年より低く推移したことや台風の影響による業務用電力の需要減などにより前年度を下回りました。

2. 収支の状況

平成 23 年度の収支については、収入面では、燃料費調整制度の影響等による電灯電力料の増加、連結子会社の外部向け売上高の増加などにより、売上高（営業収益）は前年度に比べ 75 億 80 百万円増(4.8%増)の 1,660 億 75 百万円となりました。

一方、支出面では、燃料費や他社購入電力料、減価償却費の増加があったことから、営業費用は前年度に比べ 91 億 87 百万円増(6.4%増)の 1,533 億 5 百万円となりました。

以上の結果、営業利益は 16 億 7 百万円減(11.2%減)の 127 億 69 百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は 7 億 68 百万円減(7.0%減)の 102 億 73 百万円、当期純利益は 10 億 90 百万円減(13.6%減)の 69 億 56 百万円となり、3 年ぶりの増収減益となりました。

なお、当期の期末配当金については、1 株あたり 30 円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて、1 株あたり年間 60 円を予定しております。

3. 平成 24 年度の業績見通し

平成 24 年度の販売電力量は、前年度に比べ 1.3%増の 75 億 41 百万 kWh を見込んでおります。

売上高については、燃料費調整制度の影響や販売電力量の増加等による電灯電力料の増加が見込まれることや、連結子会社において外部向け売上高の増加が見込まれることから、前年度に比べ増加する見通しとなっております。

一方、費用については、燃料単価の上昇や発電電力量の増加等による燃料費の増加、吉の浦火力発電所の運転開始に伴う減価償却費の増加が見込まれることから、前年度に比べ増加する見通しとなっております。

このような状況から、平成 24 年度の業績は、売上高は 1,751 億円、営業利益は 73 億円、経常利益は 46 億円、および当期純利益は 33 億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

○平成 23 年度決算の概要

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 23 年度 (実績)	平成 22 年度 (実績)	増減	増減率	
電 灯	2,938	2,991	△53	△1.8%	
電 力※	4,502	4,530	△28	△0.6%	
合 計	7,440	7,521	△81	△1.1%	
参 考	民生用需要	6,159	6,243	△84	△1.3%
	産業用需要	1,281	1,278	+3	+0.2%

※電力には特定規模需要を含む

■連結経営成績（3年ぶりの増収減益）

(単位：百万円)

	平成 23 年度 (実績)	平成 22 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	166,075	158,494	+7,580	+4.8%
営 業 利 益	12,769	14,376	△1,607	△11.2%
経 常 利 益	10,273	11,042	△768	△7.0%
当期純利益	6,956	8,047	△1,090	△13.6%

※端数処理の関係で増減が合わない箇所があります

○平成 24 年度業績見通し

■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 24 年度 (見通し)	平成 23 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,988	2,938	+50	+1.7%
電 力※	4,553	4,502	+51	+1.1%
合 計	7,541	7,440	+101	+1.3%

※電力には特定規模需要を含む

■連結業績見通し比較（2年連続 増収減益）

(単位：百万円)

	平成 24 年度 (見通し)	平成 23 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	175,100	166,075	+9,024	+5.4%
営 業 利 益	7,300	12,769	△5,469	△42.8%
経 常 利 益	4,600	10,273	△5,673	△55.2%
当期純利益	3,300	6,956	△3,656	△52.6%

※端数処理の関係で増減が合わない箇所があります